

(事例19) 31歳男性、木材加工業、シャント形成後のため振動工具取扱禁止

類型	症候	疾患
1	9. 透析中+シャント	6. 腎不全(透析中)

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 31歳 男性 2) 業種、作業内容 木材加工(グラインダー作業)		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 腎不全(透析中)		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 要検討 治療継続を要する。負荷軽減と安全確保のために作業内容の見直しを要する。(主治医の意見を確認)		
4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 健診にて上記病歴あり、他方で作業内容に懸念があったため面談した。面談にて振動工具取り扱いがあること、また主治医も現在の作業に懸念があることを本人に伝えていた。このため業務をグラインダーから以前行っていた天井クレーン担当とし、振動工具取り扱い禁止とした。		
5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可) ① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください 不詳のリスクを具体化するのは困難だが、シャント損傷が致命的となり得ること、また振動がシャントに与える悪影響も懸念された。		